

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO 法人 高知県介護の会	代表者	豊永 美恵	法人・事業所の特徴	その人がその人らしく地域で生活が送れるよう念頭に、利用者のニーズの把握に心がけている。特に接遇は中でも一番と考え、全職員が一丸となって取り組んでいる。その為には、地域住民との協力が大切で、地区区長や民生委員の方々を中心にボランティアの輪が出来ており、沢山の方々が当事業所の行事に参加・協力して頂いている。当事業所はあつたかふれあいセンターも運営しており、地域住民とも交流が盛んである。近隣の保育所・小学校からは、生徒並びに教員の方々も積極的に慰問・ボランティア等も務めていただいている。利用者の家族の方々も同様に、全員で要介護者の支援をしている。
事業所名	小規模多機能施設 えびす	管理者	金子 真由美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個々の職員の苦手分野を克服し、得意分野を伸ばしていくように、職員全員で取り組む。	自己の意見を述べる事が出来ない職員は、前もって意見を聞くことあり。又芸術的センスが特に優れた職員は、それを生かした取り組みを行ない、介護技術に優れた職員は後進の指導に当たっている。	やはり一番にコロナやインフルエンザの流行もあり、また当事業所もコロナやインフルエンザのクラスターになった為、思うような事が出来なかった。	感染状況にもよるが、ミーティングへの参加はほぼ全員が、切石出来るように、職員の意欲向上を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	壁には、季節感漂う作品を飾り、利用者様を楽しませているが、今以上に工夫し、利用者様と一緒に作り上げたい。	壁飾りは、季節感漂う作品を制作しているが、利用者様と一緒に作る事は、介護度が高い利用者様が多い為、なかなか叶わず、数名の利用者様のみが参加出来ている。	職員の中には、イラストなどの芸術センスが磨かれた職員がおり、大作を作ったりしているが、コロナ禍で、室内に外部の方が入ってくる事が出来ず、それを見る事が出来ない。	家族や地区の方々が事業所への来所が少なくなっているが、いつ来られても良い様に、掃除をしっかりと行う。玄関はきれいに片づけて、作品を飾る事が出来るようにしたい。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナも第5類になってくると、イベントもできるようになってくると思われるので、利用者様が楽しめる事を少しずつ、増やしていきたい。	利用者様の楽しめる事を考えるが、外に出る事の意見が多くあり、ドライブなどで花を見物に行くことから始めている。誕生会なども、外部の方が慰問に来ることもなく、職員が楽しみを作っていくしかない状態。	コロナも第5類になってきたので、もう少し色々な事が出来るだろうと思っていたが、コロナやインフルエンザの流行など、落ち着いたと思っても、いろいろなことが起こり地域との交流が出来ていない。	感染対策に今一度注意を払い、クラスターにならないように、室内の換気や消毒を徹底し、職員全員が、気を付ける。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>コロナの状態を見ながら、まずは、ドライブから始め、事業所のイベントや地域のイベントにも参加できるようにしたい。</p>	<p>菜の花や桜の花、紫陽花の花などが咲いたら、ドライブにて花見に出かけることは出来ている。ただ、コロナで地域のイベントなどがなくなっている状態なので、地域との交流が余り出来ていない。</p>	<p>利用者様が住んでいる地域まで行くが、車中から出ることはなく、近辺を見るだけのドライブ程度に終わっている状態。もう少し回数を増やしてあげれば良かったと思う。</p>	<p>行事やイベントが出来ない分、職員全員がレクリエーションに力を入れ、利用者様が笑顔で楽しく暮らせるようにする。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>コロナの状況を見ながら、少しずつ運営会でも地域の困った方々の事例検討が出来るようにしたい。</p>	<p>運営会自体がコロナやインフルエンザの為、資料の送付のみの時もあり、事例検討が出来る機会が少なかった。地域の心配な方は、地域の方や民生委員の方などから話が来ていることあり。</p>	<p>コロナが第5類になっても、何波も起こり、今年こそはと思うが、なかなか思うように出来なかった。</p>	<p>世間の感染状況にもよるが、感染対策をしっかり行い、クラスターにならないように注意し、運営推進会議が毎回開催出来るように取り組む。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>コロナと上手に向き合い、事業所の防災訓練にも地区の方々や、運営委員の方の参加を希望する。</p>	<p>第5類になるとは言え、事業所もコロナやインフルエンザのクラスターになったこともあり、リスクを考えると地区の方々や運営委員の方々と一緒に行くことは、難しい状態だった。</p>	<p>地震などの災害が頻繁に起こっている昨今、訓練を行っているとは言え、やはり職員一人の時などの夜勤帯が心配。遠くに住んでいる職員は災害時、勤務できない場合もあり、近くに住んでいる職員の出動が必要になる。できれば体力のある男性職員のほうが、頼もしい。</p>	<p>災害時、利用者様だけでなく、地域の方々に援助が出来るように、地域との繋がりを大事にし、職員全員が防災についての知識を向上させる。</p>